

平成 21 年 1 月 19 日

各 位

会社名 株式会社ユビテック
 代表者名 代表取締役社長 荻野 司
 (コード 6662 大証 HC スタダード)
 問合せ先 常務取締役管理本部長 明石 直人
 (TEL. 03-5487-5560)

平成 21 年 6 月期第 2 四半期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 20 年 8 月 8 日の決算短信発表時に公表した平成 21 年 6 月期(平成 20 年 7 月 1 日～平成 21 年 6 月 30 日)の第 2 四半期業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1 平成 21 年 6 月期第 2 四半期業績予想数値の修正(平成 20 年 7 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日)

(1)連結

(単位:百万円, %)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	2,750	100	100	46	1,316 円 91 銭
今回修正予想(B)	2,664	190	190	95	2,713 円 53 銭
増減額(C=B-A)	△86	90	90	49	—
増減率(C/A) %	△3.1	90.0	90.0	106.5	—
(ご参考)前年中間実績 (平成 20 年 6 月中間期)	2,327	95	109	46	1,321 円 02 銭

(2)個別

(単位:百万円, %)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	2,250	90	90	49	1,387 円 72 銭
今回修正予想(B)	2,195	150	155	80	2,285 円 08 銭
増減額(C=B-A)	△55	60	65	31	—
増減率(C/A) %	△2.4	66.7	72.2	63.3	—
(ご参考)前年中間実績 (平成 20 年 6 月中間期)	1,889	62	70	29	833 円 64 銭

2 修正の理由

金融不安による世界的な景気減速が強まる中、当社も全般的に厳しい事業環境下であり、特に当社の電子機器事業が属するエレクトロニクス業界は主力販売先である欧米市場の不振が顕著に現れました。このような事業環境のもと、前期から徹底的なローコストオペレーション体制を目指し、オフィス賃貸費用の削減、業務効率の向上による管理部門を中心とした間接部門の縮小を実施しコスト削減を進めてきました。さらに、業務全体を見直しながら関係協力会社にもご協力を頂き、仕入コストや外部委託費用についても削減を進めてきました。

また、今期に入り、昨年度までに開発投資をした製品群が利益に貢献してきており、電子機器事業ではオリックスグループとの協業第一弾としてオリックス自動車株式会社向けのカーシェアリング端末システム開発を行い、モバイルユビキタス事業ではパナソニック電工株式会社からの受注が順調に推移しました。さらにモバイルユビキタス事業の携帯電話評価業務が引き続き堅調であったことと、全社的に業務の効率化を推進し内部要員を有効活用した事によりコスト削減対応を進め、利益率の改善を行った結果、営業利益及び経常利益、当期純利益が当初見込みに対して上回ることとなりました。

下期以降も自己資金による新規技術開発投資、資本提携先であるオリックス株式会社とパナソニック電工株式会社との関係強化に努めるとともに関西地区での営業強化等を進め、事業拡大を図ってまいります。なお、当社を取り巻く今後の経済情勢及び市場動向が不透明のため、通期業績予想につきましては、現時点での修正は行っておりません。

[注]以上の業績予想は、現時点で入手可能な情報による判断及び仮定に基づき算定しており、リスクや不確定要素の変動及び経済情勢等の変化により、実際の業績と本開示内容における見通しとは異なる可能性があります。

以 上